



仙塩広域都市計画事業

仙台駅東第二土地区画整理事業

# 竣工記念誌





ここから、  
はじまる。

## 仙台の新しい都心として

仙台駅東地域は、古くは、万葉集で歌われる宮城野の地として知られ、藩政時代には、北側には武士や足軽が暮らすまち、南側には寺院が集まる寺まちがつけられました。近代に入り、商店街が形成されるほか、工場や一般住宅も立ち並ぶようになりましたが、空襲による戦災を免れたため、戦後も、狭い道をはさんで古い木造建物が密集し、防災や環境衛生面での課題が残りました。

高度経済成長とともに仙台市が発展するなかで、当地域の都心機能拡充と土地利用高度化、併せて地域課題解消のため、昭和35年に新寺小路地区、昭和48年に駅東第一地区、そして昭和63年に駅東第二地区で土地区画整理事業が開始されました。

ここ駅東第二地区は、名掛丁、鉄砲町及び二十人町など城下町に由来する街並みや商店街の賑わいなど、昔ながらの風情が残るなかで、未来に向けたまちづくりが進められてきましたが、地域の皆様の大変なご労苦のもとに、今般、事業が竣工し、仙台市の新しい都心の街として生まれ変わりました。

ここに、多くの地権者や関係者の皆様のこれまでのご協力、ご尽力に深く感謝いたします。今後とも、地域の歴史的・文化的風土を生かしながら、住居と賑わいの機能を併せ持った魅力あるまちづくりに、地域の皆様とともに取り組んでまいります。

平成27年10月30日

仙台市長 奥山 恵美子

### 目次

- 02 はじめに
- 03 駅東地域の位置付けや役割を確認しましょう。
- 05 都心エリアの整備のあゆみを振り返りましょう。
- 06 事業前の状況を振り返りましょう。
- 07 事業の概要をみてみましょう。
- 09 道路等の整備をみてみましょう。
- 11 まちの記憶を探しに行きましょう。
- 13 事業のあゆみを振り返りましょう。
- 15 まちづくり活動を振り返りましょう。
- 17 未来に向けて、さらに…。







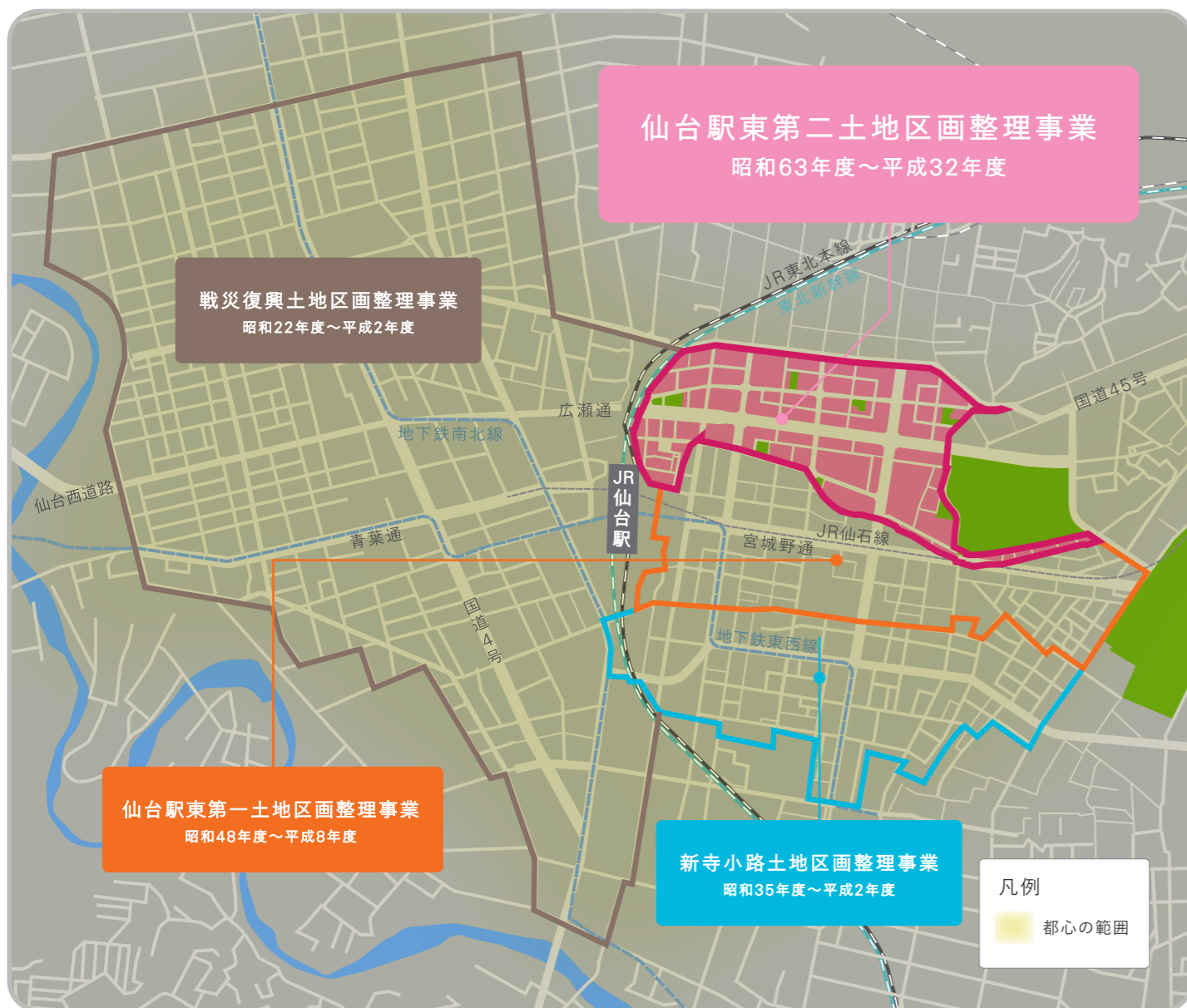
# 都心エリアの整備のあゆみを振り返りましょう。

仙台市は戦後、都心部において戦災復興土地区画整理事業を実施し、近代都市の発展に必要な都市基盤整備に着手しました。

仙台駅東地域も当時、戦災復興土地区画整理事業を検討しましたが、戦災を免れていることや膨大な数の建物移転を要することなどにより事業区域から外れた地域でした。

仙台市の都市計画において駅東地域一帯の再開発は長年の懸案だったため、中枢都市仙台の発展に相応しい駅東地域の都心機能と土地利用高度化、併せて防災性向上等を図ることを目的とし、昭和35年に新寺小路地区、昭和48年に駅東第一地区の土地区画整理事業に着手しました。

駅東第二地区は、昭和63年に、駅東地域の再開発を締めくくる土地区画整理事業として、一体的な都市機能を備えるために、道路、公園等公共施設の整備改善と市街地環境の更新を行い、健全かつ機能的な市街地形成と宅地の利用増進を図るために事業を開始しました。



# 事業前の状況を振り返りましょう。

## ～駅東第二地区の事業着手前の課題～

本地区は、JR仙台駅の北東に位置し、北側は国道45号、東側は榴岡公園、南側は駅東第一地区(土地区画整理事業施行済)、西側はJR東北本線に囲まれた面積45.3haの地域です。  
事業着手前は、主に以下のような状況でした。

- 商業・業務地と住宅地が混在した土地利用で、城下町の町割に由来する狭小で短冊形の土地が多くありました。
- 狭い道をはさんで古い木造建物が密集していました。また公道に接しない宅地が多くありました。
- 主な道路として、地区を東西に貫く2つの路線がありますが、いずれも幅員が7m程度と狭く、一方通行となっており、終日混雑していました。

これらのことから、都市防災や環境衛生の面で大きな課題を抱えていました。





# 事業の概要をみてみましょう。

## 関連事業について



駅東第二地区周辺で行われた関連の事業について紹介します。土地区画整理事業による整備効果と併せて駅東地域の都心機能及び利便性が高まりました。

### 1 関連事業

#### 仙台駅北部東西自由通路整備事業

仙台駅東西の連携強化、アクセス性及び回遊性の向上を図った事業。

施行者 仙台市  
施行期間 平成18年～平成20年

### 2 関連事業

#### 都市計画道路元寺小路福室線(宮城野橋工区)

JR線を跨ぐ宮城野橋(通称:X橋)を片側3車線の橋に架け替える事業。

施行者 仙台市  
施行期間 平成19年度～平成30年度

### 3 関連事業

#### 仙台駅東再開発住宅建設事業

土地区画整理事業施行に伴い、借家人等の住宅に困窮することとなる方が地区内に居住できるように集合住宅を建設した事業。

施行者 仙台市  
施行期間 平成3年度～平成5年度

### 4 関連事業

#### 都市防災不燃化促進事業

榴岡公園等の広域避難場所への避難ルートである国道45号等の沿道で不燃化区域に指定された区域において、助成条件を満たす建築物(RC造)を建築された方に対して、国・市が建築費の一部を助成する事業。

事業期間 平成9年度～平成20年度

### 5 関連事業

#### 仙石線連続立体交差事業

踏切の撤去による道路交通の円滑化を図った事業。

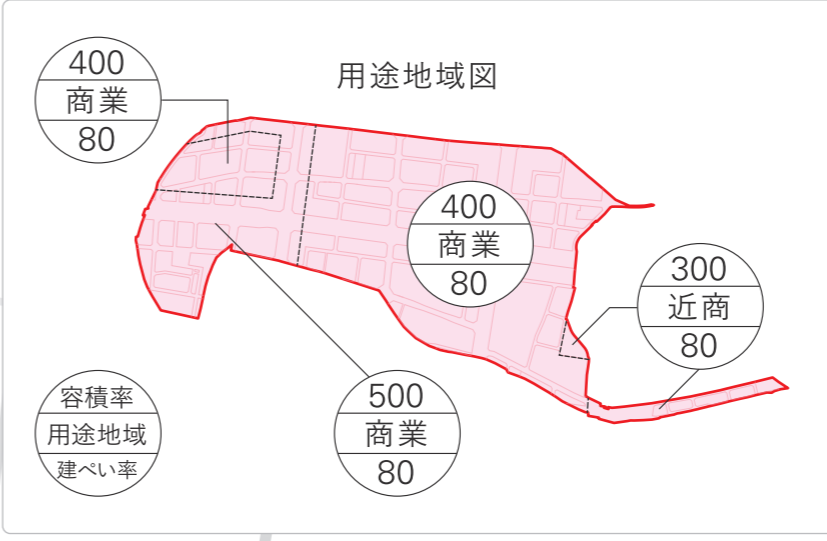
施行者 仙台市  
施行期間 昭和56年度～平成12年度

## 事業概要

名称 仙塩広域都市計画事業 仙台駅東第二土地区画整理事業

施行者 仙台市	施行面積 約45.3ha	総事業費 758億円	施行期間 昭和63年度～平成32年度 (清算期間5年を含む)
------------	-----------------	---------------	--------------------------------------

本事業の区域はJR仙台駅の北東に位置しており、本地区の多くは駅より1km圏内に含まれています。  
ここで具体的な事業の内容について見ていきましょう。



地区の大きさは、東西約1km、南北に約500mです。  
広さは楽天koboスタジアム(約2.6ha)およそ17個分ですね。

道路面積は3倍以上、公園面積は約5倍に増えました。  
また、鉄砲町や二十人町の通りの幅も広くなり、交通の利便性が高くなりました。

地区内の土地利用は学校を除くとほとんどが商業地なんです。

## 土地利用計画

区分	施行前		施行後		
	面積(m <sup>2</sup> )	割合(%)	面積(m <sup>2</sup> )	割合(%)	
公共用地	道路	42,272.0	9.32	144,931.6	31.96
	公園	3,029.5	0.67	15,004.7	3.31
	水路	4,131.4	0.91	0.0	0.00
	その他	40,628.4	8.96	0.0	0.00
	公共用地計	90,061.3	19.86	159,936.3	35.27
宅地	民有地	311,060.2	68.60	-	-
	公有地	43,345.1	9.56	-	-
	宅地計	354,405.3	78.16	293,466.3	64.72
保留地	0.0	0.00	0.0	0.00	
測量増減	8,972.3	1.98	4.8	0.01	
合計	453,438.9	100.00	453,407.4	100.00	



# 道路等の整備をみてみましょう。

1



## 東名掛丁線 都市計画道路 基盤整備 緑・景観

歩行者専用の都市計画道路で、島崎藤村にちなみ、「初恋通り」の愛称で呼ばれており、また、一部広場状の空間も「藤村広場」の愛称で呼ばれています。広場には若菜集の表紙の蝶が舗装にデザインされており、全国でも珍しいタイプの道路です。

### コラム 島崎藤村と名掛丁

筑摩県馬籠村(現在の岐阜県中津川市)に生まれた島崎藤村が東京での悩み多い生活から逃れて、東北学院の英語の先生として来仙したのは明治29年9月上旬のことです。下宿を3回ほど変えて、名掛丁の宿屋兼下宿屋の「三浦屋」に移ってきたのはその年の11月のことでした。わずか一年足らずでしたが、在仙期間の大半を三浦屋で過ごし、その後、日本近代詩の先駆けとなった「若菜集」を書き上げました。

### 建物移転について

道路等や宅地の整備にあたり、建物の移転が必要となりました(1,068戸)。地区の皆様には仮設の住宅や店舗への移転等大変なご労苦とご協力を頂いて整備することができました。

宮城野橋に設置されている街灯の支柱はX橋にちなんで「X」になってますね。



4



## 公園

基盤整備 緑・景観

公園は地域住民の憩いの場で、災害時は避難場所となるものです。地区東側の榴岡公園と一体整備された公園をはじめ地区内に10箇所あります。写真は鉄砲町和光公園(6号公園)で名前の由来となった和光神社に隣接しています。

美しさと豊かさを兼ね備えた都市空間の形成のため、公園や電線共同溝など、緑・景観に関する整備を行いました。

公園の数や面積は、施行前に比べ大幅に増え、都心部にあって、緑が多いまち並みとなっています。

### コラム 和光神社と矢先神社

和光神社は大坂夏の陣で伊達政宗公に従事した鉄砲足軽衆が鉄砲町を割り当てられた後、町内の守り神として、小社を建てました。社名の由来は、鉄砲の火薬爆発による火光が目や鼻を痛めないようその光を和らげるという意味からであると言われています。矢先神社は二代藩主忠宗公が榴岡で弓の指南役の屋崎隼人の見事な射を見て、弓組の矢先を守らせ給えと願い、その「矢」と屋崎の「崎」をとり、矢崎明神を創設し、その後明治31年に社名を矢先神社に改めました。2つの神社は地域の守り神として今も残り、昔を偲ぶ事ができます。

2



## 元寺小路福室線

都市計画道路 基盤整備 緑・景観

地区の中心を通り、仙台駅を中心とした東西の市街地を結ぶ幅員40m、片側3車線の都市計画道路です。歩道(7.75m)は、歩行者と自転車が分離されており、安全面においても考慮されています。また、元寺小路福室線の沿線は地区整備計画により、屋外広告の規制など景観に配慮されたエリアとなっています。

安全・安心のまちづくりのため、都市計画道路をはじめ、地区内の道路には道路照明灯を設置しています。

Q1

元寺小路福室線や宮沢根白石線は幅員がたいへん広い道路ですが、どのような位置付けですか。

A1

仙台市の骨格となる都市計画道路の一つです。駅東第二地区では、東西を結ぶ元寺小路福室線、南北を結ぶ宮沢根白石線を軸とした道路計画を立てました。

3



## 宮沢根白石線

都市計画道路 基盤整備 緑・景観

地区東側の南北を結ぶ幅員36m、片側3車線の都市計画道路で、都心環状線として位置付けられている重要な道路です。

### 計画図凡例

- 施行地区界
- 都市計画道路
- 区画道路
- 歩行者専用道路
- 公園
- 公益施設用地
- 教育施設用地
- 商業用地
- 鉄道事業用地

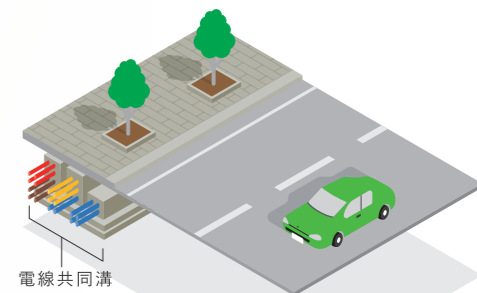
5



## 電線共同溝

都市計画道路 基盤整備 緑・景観

従来、道路上にあった電柱や電線を歩道地下にまとめて納めることで無電柱化を図る手法のひとつです。無電柱化により安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上や防災対策が図られます。当地区では元寺小路福室線など都市計画道路に導入されています。



昭和61年から開始された「無電柱化推進計画」の一貫なのです。



# まちの記憶を探しに行きましょう。

## 駅東地域をあるく

**仙台駅東第二 土地区画整理事業**

**仙台駅東第一 土地区画整理事業**

**新寺小路 土地区画整理事業**

**Q1** 仙台駅東地域についてご紹介します。  
この地域は、古くは万葉集で歌われる宮城野や宮城野萩の地として知られています。  
伊達政宗公が仙台城を築城してからは、北側地域は塩釜と仙台城を結ぶ重要な街道沿いに、武士や足軽が住まう、名掛丁、鉄砲町や二十人町の町割りがされ、南側地域には伊達家や家臣にゆかりの寺まちがつくられました。  
今も、まちのいたるところでその面影をみることができます。

**Q2** 駅東地域南側の新寺小路地区はその名とおり寺院が多いところですね。有名な場所がありますか？

**A2** 新寺小路地区にある孝勝寺の釈迦堂は伊達藩四代藩主綱村公が、母三沢初子の冥福を祈って建てたとされています。近くには魚釣りができるほどの大きな池もあったそうです。  
また、駅東第一地区内に伊達家ゆかりの墓所があり、三沢初子も静かに眠っています。(12を参照)

**Q3** 駅東地域中央に位置する駅東第一地区を通る宮城野通には「宮城野」にまつわるものがあると聴きましたか何でしょうか？

**A3** 宮城野通の歩道には、いにしへの人が宮城野について詠んだ歌碑のタイルが埋め込まれていますよ。全部で10首分のタイルがあります。(34を参照)

**Q4** 駅東地域北側は駅東第二地区ですね。こちらの地区の歴史を感じる史跡等ではどのようなところがありますか？

**A4** 地区内には寺社などが9箇所あります。  
また、昔からの地名も多く残っています。  
名掛丁は伊達氏宗公が指揮下に置いた名懸け組の組士の屋敷が置かれたことに由来し、鉄砲町は鉄砲足軽の住居用として与えられたこと、また、二十人町は二十人衆と呼ばれた鉄砲足軽が置かれたことに由来します。

**Q5** 仙石線は、昔地上を走ってたんですね！

**A5** 仙石線は平成12年より地下化されました。その前は地上を走り、踏切も多く朝夕は渋滞で大変でした。

**1** 釈迦堂

**2** 伊達家ゆかりの墓所

**3** 宮城野通歩道

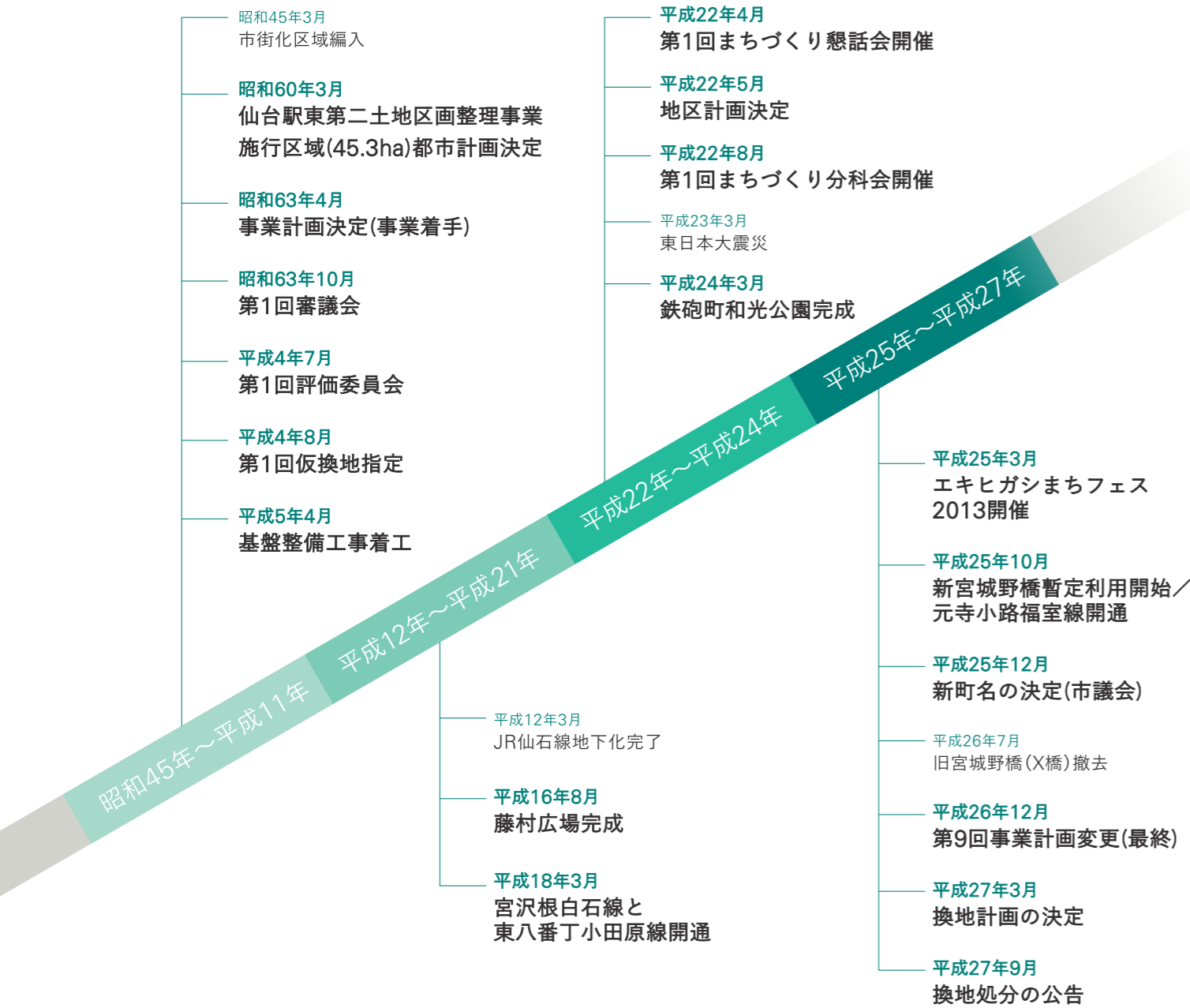
**4** 歌碑タイル

## 昔と今

過去	現在
<b>A</b>	榴岡天満宮です。現在も同じ場所にあり、杜の都・仙台わがまち緑の名所100選に選ばれています。
過去	現在
<b>B</b>	遷宮前と現在の鹽竈神社です。都会のオアシスのような空間として、多くの方に親しまれています。
過去	現在
<b>C</b>	昭和15年頃のX橋です。今も変わらず東西を結ぶ重要な橋です。
過去	現在
<b>D</b>	昭和59年頃の二十人町通です。現在は幅員が40mとなり、両側に歩道が整備されました。
過去	現在
<b>E</b>	昭和59年頃の鉄砲町通です。現在は幅員が12mとなり、沿線には鉄砲町和光公園や駅東交流センターがあります。
過去	現在
<b>F</b>	仙石線が地上を走っていた頃(平成12年頃)と、地下化された後のJR榴岡駅付近です。



# 事業のあゆみを振り返りましょう。



## 事業計画変更の変遷

- 昭和63年4月 事業計画決定
- 平成3年9月 第1回変更(公共施設整備計画(都計道等)の変更等)
- 平成4年10月 第2回変更(資金計画の変更)
- 平成7年4月 第3回変更(公共施設整備計画(公園形状等)の変更等)
- 平成8年6月 第4回変更(施行期間の変更、資金計画の変更等)

- 平成12年3月 第5回変更(施行期間の変更、施行区域の名称等)
- 平成17年4月 第6回変更(施行期間の変更、資金計画の変更)
- 平成20年5月 第7回変更(公共施設整備計画(都計道や公園等)の変更)
- 平成26年3月 第8回変更(施行期間の変更、公共施設整備計画の変更等)
- 平成26年12月 第9回変更(資金計画の変更等)



元寺小路福室線開通後



評価委員の様子



審議会の様子



鉄砲町和光公園完成(園名板除幕式)



換地計画の決定(個別説明会の様子)



地区計画の説明会の様子



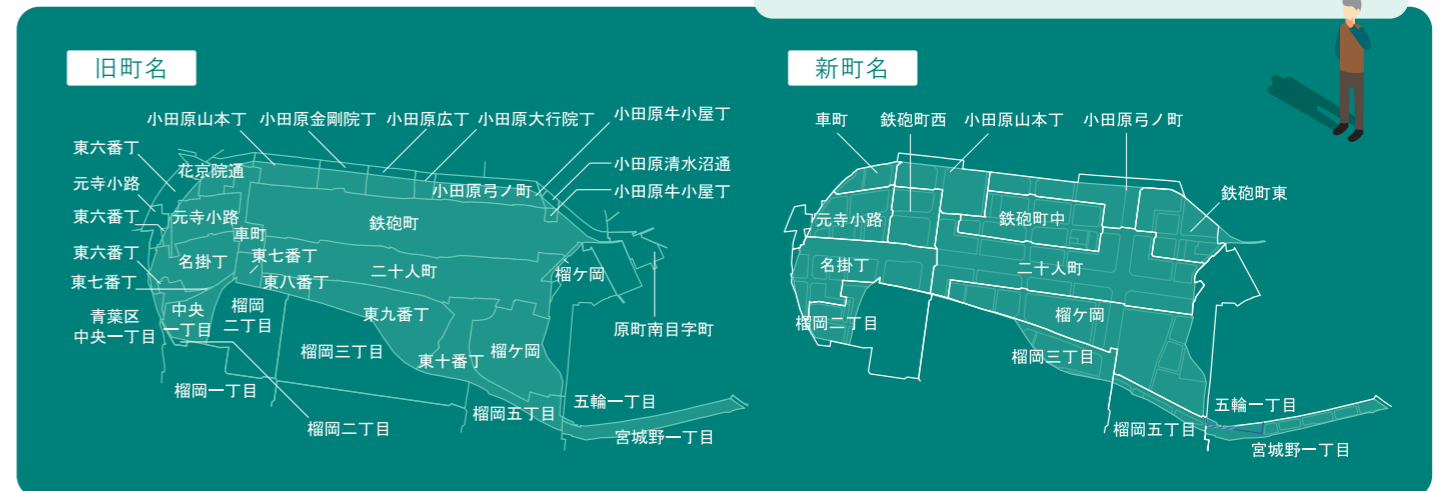
昭和62年の航空写真



平成26年の航空写真

## 町名の変更

懇話会や分科会での話し合いを踏まえ、地区内の町内会長が出席された会議の結果が反映されています。





# まちづくり活動を振り返りましょう。

Q6

道路や宅地整地等の基盤整備(ハード面)以外にどのようなまちづくりが行われたのですか？

A6

仙台駅東第二地区の市民協働によるまちづくりを推進するため、平成22年4月にまちづくり懇話会が発足しました。  
また、懇話会で選定されたそれぞれのテーマについて、さまざまな視点から意見交換するために分科会が開催され、ワークショップ方式で話し合いが重ねられてきました。

## まちづくり懇話会とまちづくり分科会の目標

懇話会・分科会では、仙台駅東第二地区の個性や魅力を最大限に活かしながら、中心市街地にふさわしい生活環境の形成と、仙台駅近接というポテンシャルの高さを活かした新たな賑わいの創出を実現することを目指し、『まちの将来像』を掲げました。

まちの将来像

輝く個性と魅力！  
暮らしやすく活気あふれる街

将来像を実現するために3つの目標を掲げ、さらに5つのまちづくり戦略を立て、それぞれの観点から具体的なまちづくりの方向性の検討を行ってきました。

3つの目標

目標 1  
コミュニティ

目標 2  
暮らしやすさ

目標 3  
にぎわい

5つのまちづくり戦略

- みんなの！交流拠点戦略
- 街なかグリーングリーン戦略
- まちをプロモーション戦略
- 歴史を伝えよう！戦略
- 街なかストリート戦略

## まちづくりの検討体制

まちづくり懇話会 (平成22年4月発足)

- 仙台駅東第二地区に関する町内会
- 仙台駅東口商工事業協同組合
- 地域のまちづくり団体

まちづくり分科会 (平成22年8月発足)

- 地区にお住まいの方
- 地区でご商売をされている方
- まちづくりに強い関心をお持ちの方

## 分科会活動内容

分科会では5つのまちづくり戦略に沿った具体的なまちづくりプログラムを検討するために3つのチームに分かれ、検討・活動を行いました。

実現するための具体的なアイデアと、どうすれば課題が解決できるか、社会実験などで行動に移しながら、みんなでこれからの「エキヒガシならではの」まちづくりを考えました。

3つのチーム

交流の場づくりチーム

魅力づくりチーム

歴史の継承チーム

## まちづくり懇話会や分科会の様子



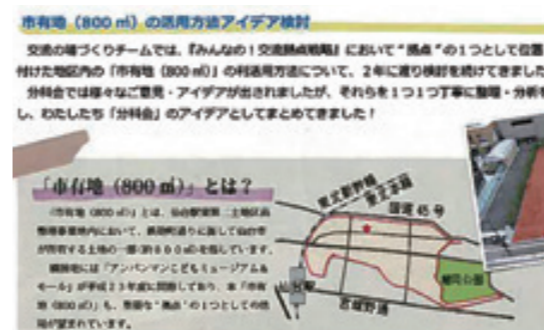
第1回まちづくり懇話会



第10回分科会

## まちづくりの活動成果 活動の成果の一部をご紹介します。

### 1 市有地800m<sup>2</sup>利活用方策の提案



皆様の話し合いにより、平成27年3月駅東交流センターが完成しました。

### 2 歴史地図の作成



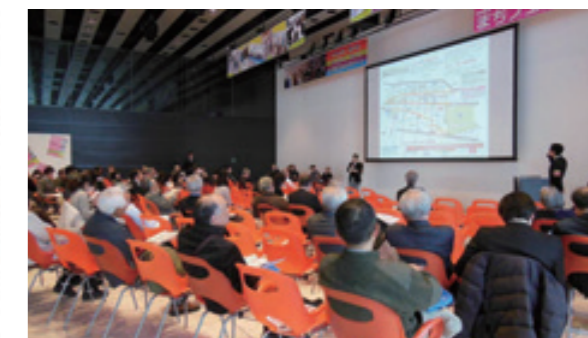
町名の由来や史跡等の歴史をとりまとめました。

### 3 新しい町名・町割・通り名の提案



土地区画整理事業後の新しい町名や町割り等について検討しました。

### 4 エキヒガシまちフェスの開催



まちづくりイベントは2011、2012、2013と開催されました。エキヒガシまちフェスは、これまで懇話会や分科会で話し合われてきた内容や、成果を広く発表する活動の総決算ともいえるイベントです。



# 未来に向けて、さらに…。

## 仙台の都心、新しい駅東地域へ

仙台駅東地域は、3つの土地区画整理事業を経て、仙台の新しい都心のまち「駅東」として生まれ変わりました。

近隣周辺には多くの人が集まる宮城野原運動公園、楽天koboスタジアム等の施設もあり、また、「杜の都」にふさわしい榴岡公園をはじめとし、宮城野通や新寺小路緑道等、緑多い地域となっています。

また、「榴岡公園さくらまつり」、宮城野通を会場にした「夏祭り仙台すずめ踊り」、新寺小路緑道での「新寺こみち市」、榴岡天満宮で毎月25日に開催される「天神様でみんなの市」等、地域に密着した様々な行事が行われています。

駅東地域では、さまざまなまちづくりが進んでいます。駅東地域の活性化に取り組むための組織「仙台駅東活性化連絡協議会」をはじめとして、地域の方々が中心となりさまざまな団体等と連携・協働し持続可能なまちづくりを目指す「仙台駅東エリアマネジメント協議会」、さらには、「新しい鉄砲町をつくる会」や「NPOなでしこ・いいまちづくり隊」など、様々なまちづくり活動が行われています。

これからも仙台駅近接の新しい都心というポテンシャルを活かしたまちづくりの広がりや、発展が期待されます。

## 現在のまちなみの様子

商業施設や交流施設の立地が進んでいます。



元寺小路福室線界隈(商業施設)



初恋通り界隈(商業施設)



鉄砲町榴ヶ岡線界隈(商業施設)



アンパンマン子どもミュージアム&モール(交流施設)

みなさんで地域の行事を楽しみ、  
地域活性化のための活動が行われています。



榴岡公園さくらまつり



天神様でみんなの市



駅東交流センター内にて行われた会議の様子



まち歩き(平成25年10月)の様子



楽天koboスタジアム宮城



新寺こみち市



夏祭り仙台すずめ踊り



よりみちマルシェ

これからも賑わいや魅力あるまちづくりを  
みなさまとともに…。





平成27年10月アエルよりのぞむ



都市整備局 都市開発部 仙台駅東第二開発事務所  
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目2番8号(テルウェル仙台ビル内10階)  
<http://www.city.sendai.jp/>